

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島支店建替工事	階数	地上7F
建設地	広島県広島市中区国泰寺町1-7-5	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年1月31日
敷地面積	491 m ²	作成者	(株)奥村組 市野敬史
建築面積	392 m ²	確認日	
延床面積	2,236 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 89%
 ③上記+②以外の 89%
 ④上記+ 89%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.1	スコア 2.6	スコア 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 BPIでの評価=0.840 / / / 節水コマに加えて節水型機器などを用いている。床塩ビシートはエコマーク商品、砕石は再生砕石を使用している。/ ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物と同等 249.21kg-CO ₂ /年m ²	設計の計画上特段に配慮した事項 / 建物利用者のための適切な量の自転車置場を確保している。	設計の計画上特段に配慮した事項 床ビニルシート、壁ビニルクロス、天井ボード類を使用している。給水管はVLP、排水管はVPのレベルBを使用し、Eは不使用。/

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される